

手外科シリーズ

17. デュピュイトラン拘縮



監修
一般社団法人
日本手外科学会広報委員会



制作
エーザイ株式会社

17

デュピュイトラン拘縮

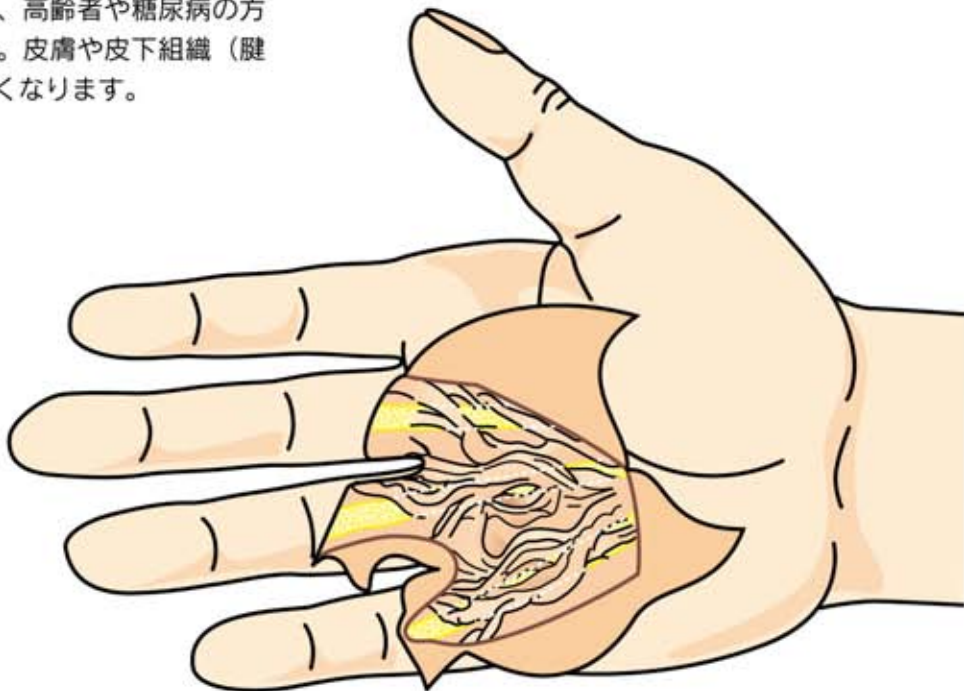
● 症状 ●

手のひらから指にかけて硬結（しこりやこぶのようなもの）ができ、皮膚がひきつれて指が徐々に伸ばしにくくなります。環指や小指に多く見られますが、他の指や足の裏にもできることがあります。痛みはあまりありません。



● 原因・病態 ●

原因は不明ですが、高齢者や糖尿病の方に多く見られます。皮膚や皮下組織（腱膜）が増殖して硬くなります。



● 診断 ●

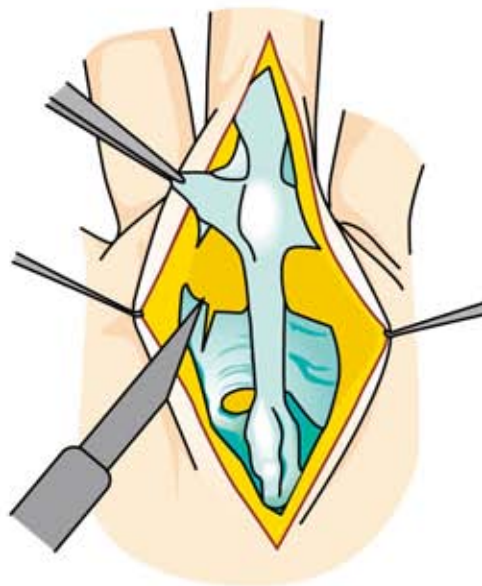
腱の断裂や癒着、腫瘍など他の病気と区別する必要がありますが、手のひらの硬結と典型的な指の変形により、専門医がみれば診断がつきます。

● 治療 ●

指が伸ばしにくくなり、日常生活に支障をきたすようになると、増殖した腱膜をとる手術（腱膜切除）が行われます。手術後には後療法（リハビリ、装具療法）を行います。術後、再発を起こすことがあります。



術前



手術



術後

皮膚切開の1例（ジグザグ皮切）